

## 06 漁業・水産業

---

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
茨城県  
【転出元】  
東京都国分寺市  
【前職】  
プログラマー  
【活動時期】  
R4.6～（2年目）

### 協力隊に応募したきっかけ

何気なく地域おこしのサイトを眺めていた際に「チョウザメ飼育」のその文言が目飛び込んできました。チョウザメとはなんだったか、ふと気になりWikipediaを確認し、そうかキャビアが採れるのかと——日本で養殖を行っているとは知らず、さらには北海道の美深町という東京から約1300km離れている環境に果たして自分自身が適応できるのか——いや、チャレンジするしかない。逆に今ここで逃したら二度と関われないかもしれないと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

継続してチョウザメが収益に繋がるような商品や、そういったキッカケを探して「美深町のチョウザメ」を盛り上げていきたいです。  
任期後はまだ決めかねている部分もありますが、商品開発や養殖事業に関わってきて自身の意見や行動の大切さに気付きました。また新たな土俵で自分の価値をさらに高めていくことも考えながら活動をしていきます！

### 活動内容

#### ●チョウザメの飼育をしています

チョウザメ飼育研究施設やチョウザメ館で、朝夕の給餌や施設の管理をしています。  
1年目の去年は、人生で初めて除雪を経験しました。

#### ●育てた魚を加工

ちょうどよいサイズになったチョウザメを捌いて、ドレスやフィレにして出荷しています。  
美深に来てから魚を捌けるようになりました。  
また、キャビアを採卵して、塩漬にしたものを瓶詰にして販売しています。

#### ●新商品をつくりました

何度も試作を重ねて、魚肉を使ったカマボコをつくって町内のイベントで販売しました。次の新商品を開発中です。

#### ●プライベートでも『魚』と楽しんでいます。

チョウザメを飼育する施設で一緒に働く仲間たちと、近くの海や湖に釣りに出掛ける機会が増えました。  
釣った魚をその場で調理して食べたり、自宅に持ち帰って調理したりして、プライベートでも楽しんでいます。秋には釣りの話で盛り上がっています。



### 連絡先

【メールアドレス】 b-shinko@town.bifuka.hokkaido.jp  
【電話番号】 01656-2-1645

【美深町地域おこし協力隊Instagram】  
bifuka\_chikiokoshi

## 基本情報



【年 齢】  
43歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
静岡県三島市  
【前 職】  
システムエンジニア  
システムインテグレータ  
【活動時期】  
R3.5～R6.4

## 協力隊に応募したきっかけ

10年以上前から離島や過疎集落での生活に憧れていたところ、知人からの話を伺い決意した。

## 今後の抱負・任期後の目標

PADIダイビングインストラクターとしてのスキルアップをし、利尻のレジャー産業の一つとして確立する。また、レジャーに限らず、潜水技術を必要とする業務を請負い事業として成立させる。  
夏季は、観光施設の草刈・整備を行う業務を事業として請負う。

## 活動内容

## ●栽培漁業の推進

サケの受精卵を浜頓別町頓別から移植して、ふ化から体重1g以上の稚魚になるまで養殖を行い、4、5月にかけて放流をする。



## ●潜水業務

アワビ、ナマコ等の生態調査及び海中施設の確認・点検。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人)) Suzuki.tallo@icloud.com  
(電話番号(個人)) 080-6844-0880

### 基本情報



【年 齢】  
58歳  
【出身地】  
宮城県気仙沼市  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前 職】  
宮城県庁（水産行政）  
【活動時期】  
R5.4～R8.3

### 協力隊に応募したきっかけ

全国的に漁業就業者は大幅に減少している。特に東日本大震災をきっかけに高齢化、担い手不足が課題となっている。また、近年の物価高騰で漁業所得が減少し、地域の活力が低下している。  
こうした状況を踏まえ、5年後、10年後、孫の代まで浜に担い手が定住できるように漁業所得向上と地域の活性化に寄与したいと考え、協力隊に応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・東北初となる養殖ワカメJAS認証取得を目指す。
- ・JAS認証したワカメを国内外に販売し、漁業所得の向上に貢献し、水産業の発展に寄与したい。
- ・任期後も海外とのビジネス交流を通じて、浜の活性化の取り組みを行いたい。

### 活動内容

#### ●養殖ワカメのブランド化（1年目）

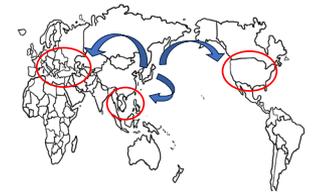
- ・漁業者とのJAS認証勉強会（R5.5）
- ・国の認証機関による有機ワカメJAS認証資格取得講習会（R5.10）
- ・国の認証機関への有機JAS申請（R5.12）
- ・認定機関による継続審査中



JAS認証資格取得講習会

#### ●国内外の販路開拓(2年目～)

大手水産加工会社と連携し、地球環境問題に関心のある欧米、米国に向けたJASワカメの営業及びPR活動に取り組む。  
また、国内の安全・安心志向者向けの市場への販売・PRを行う。  
・JAS認証取得（小分業者登録含む）



販売先イメージ

#### ●有機ワカメJAS認証地区の拡大（2年目～）

有機ワカメJASの需要取引に対応するため、町内のJAS認証取得者を目指していく。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（職場） sanriku002@outlook.com  
（電話番号（職場） 090-7079-6333

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
岩手県盛岡市  
【転出元】  
静岡県静岡市  
【前 職】  
営業職  
【活動時期】  
R4.3～

### 協力隊に応募したきっかけ

幼少期から魚が好きで、社会人になってからも魚に関わりたいという思いがありました。  
転職を考える中で、地域おこし協力隊の存在を知っていたため、魚に関わりながら地域の力になる任務が無いかを探して現在の移住先に出会いました。

### 今後の抱負・任期後の目標

3年の任期の中では後半に入ってきたため、現在の水産加工「やまぼこ」事業のほか、勤め先にある管理釣り場を利用し、魚を通じた教育普及活動もしていきたいです。  
また、協力隊の任務を今後就任する隊員に引継いでいけるよう、任務先の小河内漁業協同組合の運営立て直しや、地域との関わりの土台作りを続けていきたいです。

### 活動内容

#### ●漁業協同組合の仕事

人手不足が深刻化している小河内漁業協同組合で、養殖や業務のサポートをしています。  
ヤマメ、イワナ、奥多摩やまめを養殖池で飼育しており、ほぼ毎日養殖魚の管理を行っています。  
また、内水面漁業として、河川への放流や、河川の美化、遊漁事業にも関わり、漁協の立て直しに力をいれています。  
今後はさらに漁協の運営に携わらせていただきながら、今日の内水面漁業の在り方を勉強していきたいです。



#### ●新商品の製造

奥多摩さかな養殖センターで廃棄されていた採卵後のヤマメをすり身にし、揚げかまぼことして販売しています。  
現在は町内の飲食店さんにお使いいただいている他、イベントに出店し、販売しています。  
まだまだ事業としては始まったばかりで、すり身として使用しない部分を廃棄しないようにどうするか、など課題も多くありますが、残り1年の任期で事業拡大していけるよう頑張りたいです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) okutama.kyoryokutai@gmail.com  
(電話番号) 0428-86-2623

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(X 旧Twitter) @okutama\_osakana

### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
愛知県清須市  
【転出元】  
愛知県犬山市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4~R6.3

### 協力隊に応募したきっかけ

愛知県に住んでいた時、会社員をしながら地域の有害鳥獣捕獲に参加していました。有害鳥獣捕獲が自分の仕事にならないかと思いながら生活していたところ、X（旧Twitter）で、新潟県の粟島で有害鳥獣捕獲専門員を募集している情報が流れてきたため、これは行くしかないと思い、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は、山の猟師から海の漁師へと転向し、海で仕事をしています。  
今後は自分で獲った魚を自らブランド化し、粟島の認知度をもっともっと上げていくことが目標です。

### 活動内容

#### ● 粟島定置網漁

粟島定置の船に乗船し、漁の手伝いをしています。夏は朝4時に起床、冬は5時に起床します。最初は慣れずに辛い思いをしましたが、今ではその時間に起床することが体に染み付きました。漁の醍醐味は大量の魚が揚がってきた時の興奮です。大量の魚が揚がってくる様子は圧巻です。



#### ● 漁師のサポート・個人漁

個人漁師の手伝いを通じて、様々な漁法を学ぶことに面白さを感じています。また、任期満了後も島で暮らしたいと考えているため、自分で漁をしています。素潜りで牡蠣を獲ったり、水中銃で魚を獲るなどし、獲れた魚介類は自分で出荷をしています。



#### ● 積極的に地域行事へ参加

粟島で個人的に一番好きな行事は、祭りです。毎年10月27日に行われる内浦祭礼では、樽の乗った樽神輿を持って集落内を走ったり、引いたり、上下左右に激しく振って回ります。大漁祈願・海上安全・家内安全を祈願して行われるお祭りで、1年で一番楽しみな時間です。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（個人））ryo.hunting.0013@gmail.com  
（電話番号（職場））0254-55-2111

【活動の様子を発信しているSNS】  
（Instagram）awashima.team\_fisherman QRコード



AWASHIMA.TEAM\_FISHERMAN

### 基本情報



【年 齢】  
18歳  
【出身地・転出元】  
大阪府大阪市  
【前 職】  
なし（高校卒）  
【活動時期】  
R5.5～R8.4

### 協力隊に応募したきっかけ

私は幼いときから漁師になることが夢でした。そのことから、大阪で行われた漁師就業フェアに参加した際、小浜市の漁業についてのお話をお聞きしました。その後、小浜市での現地研修や4日間のインターシップを通し、私の好きな海や自然に溢れた小浜市に大変魅力を感じ、この小浜市で漁業を学びたいと強く思い、志望しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

1年目は牡蠣養殖だけでなく他の漁業についても学び知識、技術を身に付けていきたいです。  
今後は本格的に牡蠣養殖に取り組む親方の下に就き、一人で1年中製品を出荷できるように、牡蠣養殖をメインとした漁業を行い販売を行っていきたくです。  
将来的には、牡蠣養殖を法人化し、収入の安定化と若い方が漁業に従事しやすい環境をつくることができれば良いなと考えています。

### 活動内容

#### ●産学官連携養殖研究作業

カキの養殖の研究で、福井県立大学や小浜市漁業協同組合・市が連携。養殖開始前のカキの大きさなどを測定。



#### ●養殖漁業者作業研修

天然マガキ種苗の剥離作業、生け簀組み作業 等



#### ●水産物販促・P R活動

シーフードショーや催事に参加し、水産物の流通販売およびP R活動に参加。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（個人））kaidoubantian@gmail.com  
（電話番号（個人））090-6551-9012

### 基本情報



【年 齢】  
51歳  
【出身地】  
北海道  
【転出元】  
静岡県 菊川市  
【前 職】  
官公庁（水産庁）  
民間企業、農業  
【活動時期】  
R4.8～R7.7

### 協力隊に応募したきっかけ

三重県在住の友人から「大内山川漁協で地域おこしの募集をしているので来ませんか？」との誘いを受け、内容を伺ったところ、お役に立てる部分も多そうであり、地域の活性化に一役買えると考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊での3年の期間は、漁協の取組を他の関係する分野と繋ぎ、大紀町の観光振興全体を活性化できるように連携を図っていきたいと思います。

また、地域おこし協力隊卒業後は、可能であれば、このまま大紀町に在住して、主に内水面漁業や水産業に関する仕事を中心として生活し、地域全体の活性化への取組を続けられれば理想的だなと考えています。

### 活動内容

#### ●川の環境整備、遊漁者増加から地域振興へ

地域おこし協力隊に就任し、大内山川漁協が進めている遊漁者を増やす対策、その中でもICT化により漁業者が電子遊漁券（フィッシュパス）をネット経由で購入できる環境の整備を進めています。

この取り組みは、特にアユやアマゴが釣れる環境の維持増大が最も重要な要素の一つです。釣れる環境を維持し釣り人を増やすためには、アユやアマゴを食べてしまうカワウの飛来を減らす対策や、快適な対策を作るための清掃活動や河川工事による環境への影響低減、素敵な環境や魚の豊かさを広報する活動などが重要ですが、これらの内容を達成するには国や県等に対する様々な働きかけや情報収集、関係する民間団体や企業等との調整・協力、生態系の維持やその調査研究、有意義に活動できるようにするための予算確保も必要となってきます。かなり広範囲ではありますが、これらのような内容を大内山川漁協はじめ関係する皆さんとともに進めています。

多くの要素を出来る限り迅速かつ適切に進め、より良い形で大内山川に多くの釣り客が訪れ地域振興に貢献できるよう頑張っていきます。



### 連絡先

（メールアドレス）： 大内山川漁業協同組合 <ayuriver@ma.mctv.ne.jp>  
（電話番号（職場））： 0598-74-0666

### 基本情報



【年齢】  
43歳  
【出身地】  
兵庫県新温泉町  
【転出元】  
千葉県八千代市  
【前職】  
飲食企業の企画広報  
【活動時期】  
R5.4~R8.3 (予定)

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍にて人生を見つめ直し、これからの仕事や生きがい、子どもの教育環境などを考慮し、大阪・東京での会社勤めを辞め、家族3人で私の地元 新温泉町にUターンしました。新温泉町は日本海に面した港町で、水産事業が大きな資源でもあります。今の仕事は、水産振興として松葉ガニをはじめとした海産物資源のPRやブランディングを、浜坂漁協で行っております。前職では飲食店のマーケティングやブランディングを担当しており、そのノウハウを活かし、故郷での地域おこし協力隊となりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

目標は『浜坂ブランド世界一』を目論み、広報やブランディングを担っております。今後の抱負としては、漁協のECお取り寄せ販売の売上貢献や、新温泉町へのメディア取材増加を考えております。そのため、SNSでの魅力的な発信や未開拓の動画でのアプローチ、漁協サイトの充実を図っております。さらに、魚食普及の一環として、小学生の自然学校などで、日本海の魚と触れ合い、勉強し、食事できる料理教室を実施するなど、浜坂の魚を世界に向けて広く発信する目標を立てております。

### 活動内容

#### ●漁協ブランディング・マーケティング活動

- ・漁協サイトのリニューアル改善実施
- ・週2回のSNS投稿にて漁協情報発信と露出度拡大
- ・パンフレットを刷新しEC顧客へのDM実施
- ・EC商品購入者へのアンケートハガキ実施
- ・赤えびブランドのメディアリリース実施



#### ●地元への魚食普及活動

- ・地元小学生へのお魚料理教室実施
- ・赤えびの学校給食支給風景の取材と動画制作
- ・協力隊 退任後のキッチンカーでの魚食普及の準備
- ・地域課題 体験プログラム『ローカルクエスト』サポート



#### ●観光客の誘致活動

- ・但馬全体でのインバウンド向け動画制作
- ・個人動画による新温泉町魅力発信の準備
- ・浜坂ブランド向上のための水産ポスター制作



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス (個人)) [masatomo\\_kobayashi92@icloud.com](mailto:masatomo_kobayashi92@icloud.com)

(電話番号 (個人)) 080-1469-4702

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) [https://www.instagram.com/kobayashi\\_hamasaka](https://www.instagram.com/kobayashi_hamasaka) @KOBAYASHI\_HAMASAKA



### 基本情報



【年 齢】  
31歳  
【出身地】  
東京都 町田市  
【転出元】  
香川県 小豆島町  
【前 職】  
料理人  
【活動時期】  
R3.5～R6.3

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナウイルスをきっかけに地方移住に興味を持ち、最終目標である飲食店開業にマッチする場所を探しました。美味しい海産物があるところ、お店のスタイルに合う食材が手に入るところ、という基準で移住場所を選定し、ここだ！と思えたのが小豆島でした。しかし、水産業衰退が小豆島も例外ではないと知り、現状を知ること自分が役にたてることもあるかもしれないと思い、応募にいたりしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

活動3年目の現在、念願の飲食店開業に向けて準備を進めています。お店では、地元食材にこだわったお弁当やお惣菜を販売する予定です。3年間活動してきた経験を活かし、一次産業の方の思いも含め、地元食材の魅力をお伝えできるような料理を提供していきたいと思っています。少しでも地域貢献できるよう、地元根付いたお店になることを目標に、尽力していきます。

### 活動内容

#### ●SNSで発信

小豆島ではどのような漁が行われているのか、現場での雰囲気そのまま発信できるように実際に漁に同行し、撮影しています。また、漁師さんにインタビューとして思いを伺い、それらをSNSに投稿しています。



#### ●料理教室の開催

小豆島で漁獲される新鮮な魚介類を使った「さばき方教室」や「お魚料理教室」を開催しています。料理人という経験を活かし、自宅でも簡単に作れる本格的魚料理や、簡単に捌けるコツをお伝えし、魚料理が身近になるよう魚食普及に尽力しています。



#### ●小豆島の魚に特化した制作物

小豆島で漁獲される魚に関心を持ってもらうため、小学生へのイベントや水産出前授業の際に配布する地魚の勉強ができる下敷き「小豆島のおさかな30選」と、料理教室の参加者に配布する地魚料理に特化した「お魚レシピbook」を作成しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(職場)) [shodoshima.souzaiten@gmail.com](mailto:shodoshima.souzaiten@gmail.com)  
(電話番号(職場)) 070-4978-4549

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



Instagram



Facebook

### 基本情報



【年齢】  
18歳  
【出身地】  
高知県高知市  
【転出元】  
高知県高知市  
【前職】  
カツオ漁船乗組員  
【活動時期】  
R5.6～R8.5  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

椎名大敷の研修で初めて室戸を訪れ、その時に地域おこし協力隊についての話を聞きました。自分は昔から釣りが好きで、室戸は昔から魚がよく釣れるイメージがあり、さらには釣り人からすれば、夢の魚であるカンパチが釣れることでも有名です。

趣味である釣りを通して室戸ならではの田舎の良さ等をたくさんの人たちに伝えていきたいと感じたことが、室戸市の地域おこし協力隊に応募したきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として、今後も釣り等を通して室戸の良さをSNS等で伝え続けていきたいです。

任期後は室戸に住み続けたいと考えており、椎名大敷に就職を考えています。

将来の目標としては、個人事業主として室戸で「遊漁船」を起業したいと考えています。任期後すぐには難しいと思っているので、まずは椎名大敷でたくさん経験を積んでいきたいと思っています。

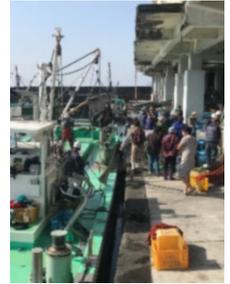
### 活動内容

#### 定置網漁業の振興（椎名大敷組合）

##### ●水揚げ

まず、大敷ですることは「朝もち→水揚げをしながら魚を仕分ける作業」です。「朝もち」とは、朝に網をもちあげ魚を獲る作業のことをいいます。

室戸は特にその日によって獲れる魚が違うので何が獲れるかが自分の中で楽しみの1つでもあります。例えば、ジンベエザメやクジラ、マンボウ等大きい魚が入っていることがあり、これは大敷で働いている特権だと思います。釣り人からしたら夢の魚である30kgクラスのカンパチも獲れます。



##### ●定置網の修繕・入れ替え

定置網は、修繕するために入れ替えをします。例えば、ロープが劣化したり、網が汚れたり（海藻がつく）、大破れ等があればすぐに入れ替えが必要になります。右の写真は、実際に網を修繕している時のものです。網の修繕の作業では、網を縫うのがとても早い先輩がいます。よく縫い方や結び方（いろんな種類の結び方がある）を教えてもらっているので、自分の今後の活動に活かしていきたいです。



##### ●SNSで室戸市のPR活動

大敷で獲れた魚や、趣味の釣りでその時に釣れた魚を自身のSNSに掲載しています。将来の目標としている起業も想定して掲載しています。右の写真は室戸市で釣れたイカです。釣りを通じてたくさんの人と交流することもできました。

夢をつかむには室戸は1番だと私は感じており、私は「夢の海域」だと思っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス)

[mr-010200@city.muroto.lg.jp](mailto:mr-010200@city.muroto.lg.jp)(地域おこし協力隊窓口：まちづくり推進課)

[mr-010900@city.muroto.lg.jp](mailto:mr-010900@city.muroto.lg.jp)(担当課：産業振興課)

(電話番号) 0887-22-5147(地域おこし協力隊窓口：まちづくり推進課)

0887-22-5116(担当課：産業振興課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

小笠原 雪斗 instagram (個人・右のQRコード)



### 基本情報



【年 齢】  
32歳  
【出身地】  
千葉県千葉市  
【転出元】  
千葉県千葉市  
【前 職】  
目黒区役所  
【活動時期】  
R5.11～R6.3

### 協力隊に応募したきっかけ

公務員として働く中で、日本の再興に貢献したいが、制約の多い現在の立場ではできることが限られているなど感じていました。そんな中で興味を持ったのが「地域おこし協力隊」です。福岡県は以前から旅行などでよく足を運んでいる地域であり、起業している友人も多く住んでいるため、私の活動拠点としては最適だと思いました。玄界島を見学した際には、島民の方の温かさや、島の観光資源の多さに感動しましたが、来島者数は少なく島の魅力が島外に伝わっていないように感じました。島に眠っている沢山の魅力を引き出し多くの方に届けられるように、島民の方々と協力しながら活動したいです。将来的に起業したいと考えているため、地域おこし協力隊の活動を通して、地方創生の一助となるビジネスプランも考えていきたいと思えます。

### 今後の抱負・任期後の目標

大学時代からマーケティングやコピーライティングを学んでおり、特にインターネットを活用した集客、情報発信が得意です。また、写真部に所属していたので、一眼レフカメラでの撮影や画像編集ソフトを扱うことができます。これらのスキルを、島の魅力発信のために活用できたら嬉しいです。

冷静に物事を俯瞰し分析する視点と、失敗を恐れずにチャレンジする行動力のどちらも大切にすることを心掛けています。地域おこし協力隊として働く際には、島民の方々の意見やアイデアをしっかり取り踏まえつつ、得意なマーケティングと情報発信によって島の魅力を多くの方に届け、それらを起点として関係人口を創出し、島の発展に貢献したいと思えます。

### 活動内容

#### ●水産業の支援

- ・ 定置網漁やワカメの加工など漁協の活動支援
- ・ 特産品や未利用魚を活かした新規ブランド品の開発

#### ●地域コミュニティの活性化・活動支援

- ・ 玄界島島づくり推進協議会の運営支援
- ・ 地域が開催するイベントの運営支援

#### ●行政支援

- ・ 災害時の避難所開設・運営支援
- ・ その他地域支援課の業務補助

#### ●その他地域の課題解決や活性化につながる活動

- ・ 情報発信など

### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) (個人) atdk.y.k@gmail.com  
(職場) genkai72@mopera.net (玄界公民館)  
(電話番号) (個人) 090-1858-8826  
(職場) 092-809-1243 (玄界公民館)

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(玄界島公式HP) <http://genkaijima.com/info/>  
(玄界島公式Instagram) [https://www.instagram.com/genkaijima\\_official/](https://www.instagram.com/genkaijima_official/)

### 基本情報



【年 齢】  
45歳  
【出身地】  
福岡県柳川市  
【転出元】  
千葉県市川市  
【前 職】  
会社員（不動産管理）  
【活動時期】  
R4.1～R6.12  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

数年前にプライベートで転職となる事があり、元々勤めていた業界、業種とは違う業種の仕事に挑戦してみたいと思う様になりました。

全国の色々な地方で、企業、事業承継、地域おこし協力隊など、様々な仕事のお話をうかがいました。九州の仕事が多かったのですが、東京に長く居た為、その時は殆どの募集されていた地方へ直接伺いました。

その中で、ご縁があって現職に採用して頂き、今に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

まだ定まったものではありませんが、任期後は、任期中に得た知識や経験を活かして、お世話になったみなさまのお役に立てる様な仕事を手掛けたいと思います。

### 活動内容

#### ●釣り文化振興モデル港

所属する上五島町漁業協同組合が管理している青方港が、釣り文化振興モデル港に指定されています。日本の港湾では原則として釣りが禁止されていますが、釣り文化振興の為に国土交通省が指定した上記モデル港が日本に16港あり、その中の1つとなります。

こちらの運営、管理、宣伝、メディア対応等を行っております。



#### ●その他

「水産業と観光業の連携事業」が私の地域おこし協力隊としてのミッションとなっております。

いくつかの観光ガイドのボランティア団体に所属し、島の観光を盛り上げられる様に努めています。

また、森林ボランティア、日本語ボランティアの団体にも所属しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) [https://www.instagram.com/chioko\\_snkm/](https://www.instagram.com/chioko_snkm/)

(Facebook) <https://www.facebook.com/kami510chioko>

## 基本情報



【年 齢】  
51歳  
【出身地】  
大阪府泉大津市  
【転出元】  
大阪府岸和田市  
【前 職】  
自営業  
【活動時期】  
R1.12～R4.11

## 協力隊に応募したきっかけ

中津市の漁協の方から「ひがた美人」の話を伺い、その方々の想いに自身の心が動かされ、仲間になりたいと思いました。中津が、一度離れた人もまた帰ってきたくなり、まだ見ぬ誰かにとっても、中津が重なる場所であってほしい、そんな思いを持ちました。そんな場所にするお手伝いをしたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、中津市に定住し、大分県漁協中津支店の正組合員となり、漁業者（漁師）として生計を立てていくために、漁師の先輩から多くのことを学び、活かしていきたいと思えます。そして、この中津干潟を守っていき、ここでしかできない漁業の継承者になりたいです。

## 活動内容

## ●牡蠣養殖

中津干潟の特性を活かし、潮の干満で牡蠣を養殖しました。中津のカキ養殖は、養殖用のカゴに牡蠣を入れ、潮が満ちれば牡蠣は多くの海水とミネラルをその身に蓄え、潮が引くことで身が締まり、「ひがた美人」は美味しくなります。



## ●アサリ、ハマグリ試験養殖、種苗生産

中津産の親貝にこだわり、卵を採取し、稚貝を中間育成し、沖の漁場にもっていき養殖を行った。卵から販売できるサイズまで2年の期間がかかりました。また、餌となる植物プランクトンも製造し、こだわって生産を行いました。



## ●漁

主にコチ、ベタ、ワタリガニを建網漁で採取しました。それに並行し、籠漁を行い、コウイカ、モンコウイカ、カニを主に採取しました。籠にも工夫を加え捕獲量や業務効率の向上を図りました。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス） [tiikishinko@city.nakatsu.lg.jp](mailto:tiikishinko@city.nakatsu.lg.jp)  
（電話番号） 0979-62-9033  
※上記連絡先は中津市役所地域振興・広聴課（協力隊担当課）